

R6.12.13

令和6年度第2回大学等の質保証人材育成セミナー
評価疲れのメカニズムと解消に向けたTips

「評価疲れ」のメカニズムと 測定尺度の開発

市村 賢士郎

大学改革支援・学位授与機構 研究開発部

心理学の研究手法に則って作成

- **評価疲れの概念整理**

- 文献調査
- アンケート分析

- **尺度項目の作成**

- 大学評価関係者へのヒアリング調査
- 有識者による検討

- **データに基づく項目の検証**

- Web調査によるデータ収集
- 相関分析
- 因子分析

一般職業従事者950名に調査

- Web調査会社のアンケートモニターに登録の有職者かつ
- 年に1回以上評価にかかわる業務に従事している人

4つの観点を計18項目で測定

1. 評価目的の**不透明感** 7項目

- 1-1. 評価にともなう作業の手順がわからない
- 1-2. 評価の仕組みがわからない
- 1-3. 評価の方法がイメージできない
- 1-4. 評価の目的がわからない
- 1-5. 評価に意義はないと感じる
- 1-6. 評価で何を求められているのかわからない
- 1-7. 評価の内容をイメージすることが難しい

2. 評価制度への**不信感** 4項目

- 2-1. 評価結果が形式的だと感じる
- 2-2. 評価のやり方に疑問を感じる
- 2-3. 評価の仕組みが形式的だと感じる
- 2-4. より適切な評価方法があると感じる

3. 評価作業の**負担感**

物理的負担感 4項目

- 3a-1. 評価にともなう作業の量が多い
- 3a-2. 評価の種類が多い
- 3a-3. 評価にともなう準備が大変である
- 3a-4. 評価の多さに負担を感じる

心理的負担感 3項目

- 3b-1. よい評価でなければいけないという重圧を感じる
- 3b-2. 悪い評価への抵抗を感じる
- 3b-3. 評価結果を周りと比較されることに重圧を感じる

※アンケート時には項目の順番を回答者ごとにランダム化しています。

1. 評価目的の**不透明感**

会場と一般職業従事者との尺度得点の比較を当日に示します。

1. 評価方法への不信感

会場と一般職業従事者との尺度得点の比較を当日に示します。

3a. 評価作業の物理的負担感

会場と一般職業従事者との尺度得点の比較を当日に示します。

3b. 評価作業の心理的負担感

会場と一般職業従事者との尺度得点の比較を当日に示します。

評価疲れ = 不透明感 + 不信感 + 負担感

- 評価疲れは3つのキーワード、4つの観点で考えることができる
 - 評価目的の**不透明感**
 - 評価制度への**不信感**
 - 評価作業の物理的**負担感**・心理的**負担感**
- 高等教育機関における評価疲れ
 - アンケート結果の要約を当日に追記します。